

富士川以東の富士海岸(富士工区～沼津工区)の所管事務所の変更

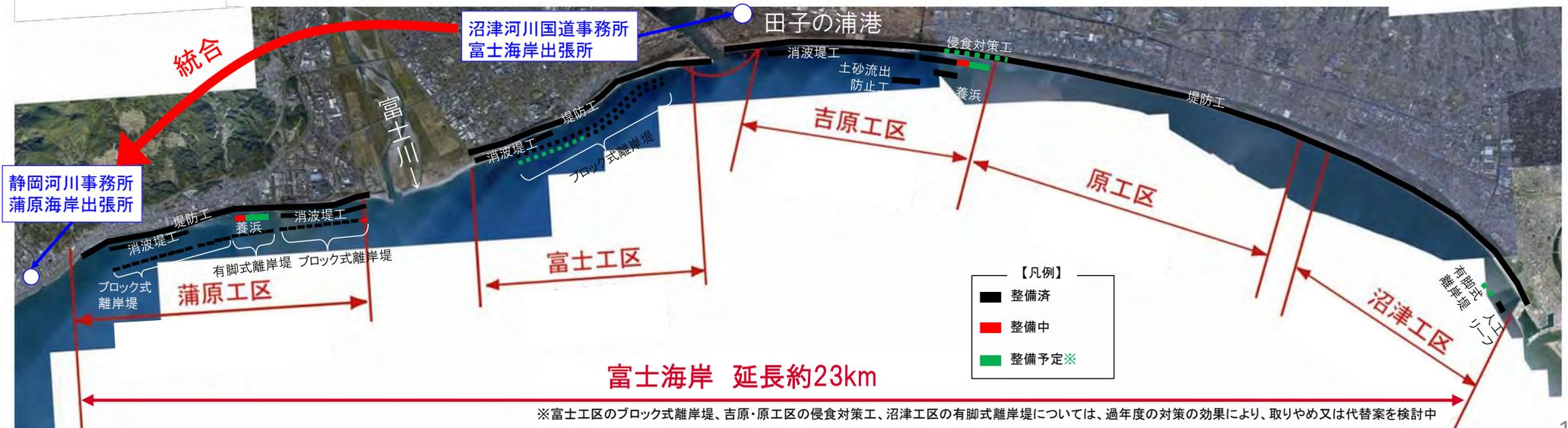
- 令和7年4月より、富士工区～沼津工区を含む富士海岸全体を静岡河川事務所の所管とし、過年度実施した養浜の効果検証を、専門の職員を有する静岡河川事務所海岸課において実施する。
- 合わせて、沼津河川国道事務所富士海岸出張所を静岡河川事務所蒲原海岸出張所に統合し、静岡河川事務所富士海岸出張所として、富士海岸全体の工事・維持管理等を担当する。



沼津河川国道事務所 富士海岸出張所

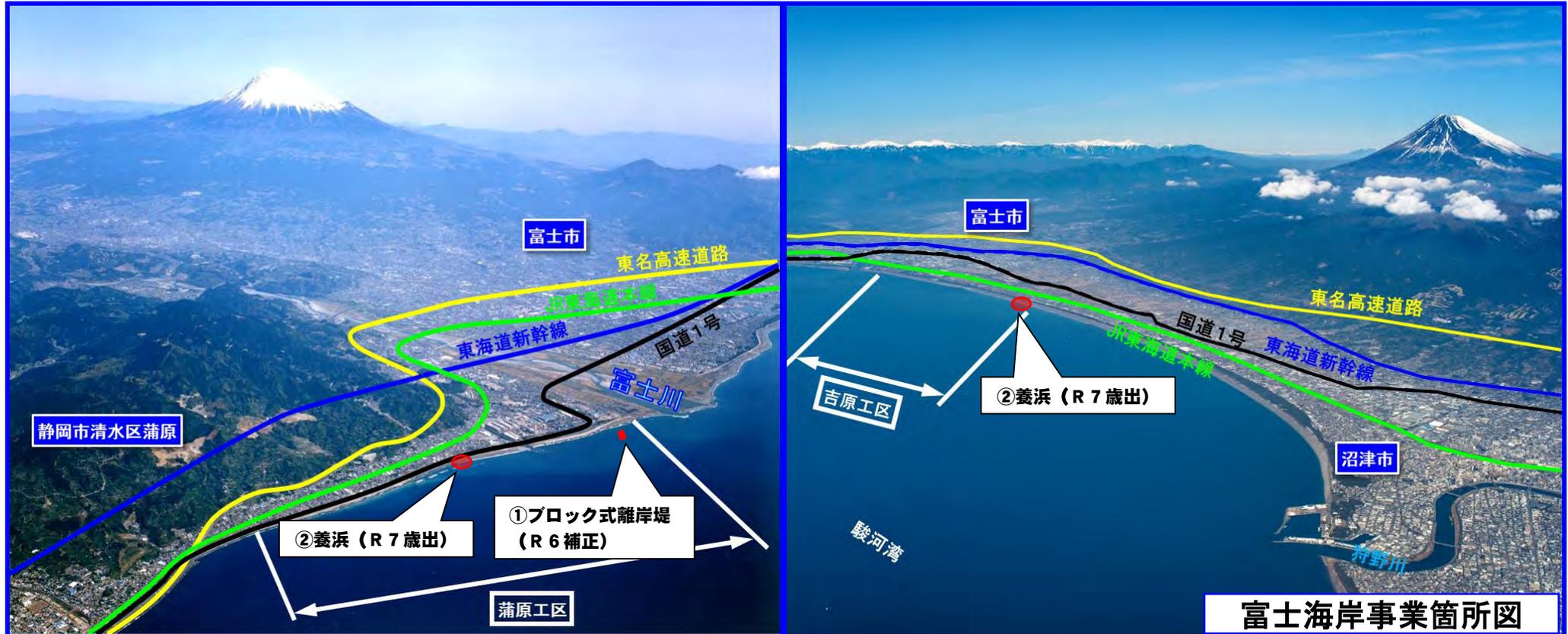


静岡河川事務所 蒲原海岸出張所
(静岡市清水区由比北田450 清水保健福祉センター由比分館1階)



富士海岸事業

○富士川河口より西側に約4.3kmの沿岸と、東側に約18.7kmの沿岸において、高潮災害等の防止のため、ブロック式離岸堤などの海岸保全施設の整備、養浜などによる侵食対策を実施しています。



【主な事業内容】

○ブロック式離岸堤 (①)

- ・高潮や高波等による背後地の越波被害を防止するため、蒲原工区において、消波ブロックによる離岸堤の整備を実施します。

○養浜 (②)

- ・高波等による背後地の越波被害を防止するため、蒲原工区・吉原工区において、養浜を実施します。

蒲原工区（ブロック式離岸堤）

○蒲原工区は、海岸堤防の背後に住家が連担しています。また、国道1号等の主要交通網が集中しているため、高潮等による甚大な被害を防ぐため、ブロック式離岸堤を整備します。



波浪状況
(平成29年10月23日 台風21号)



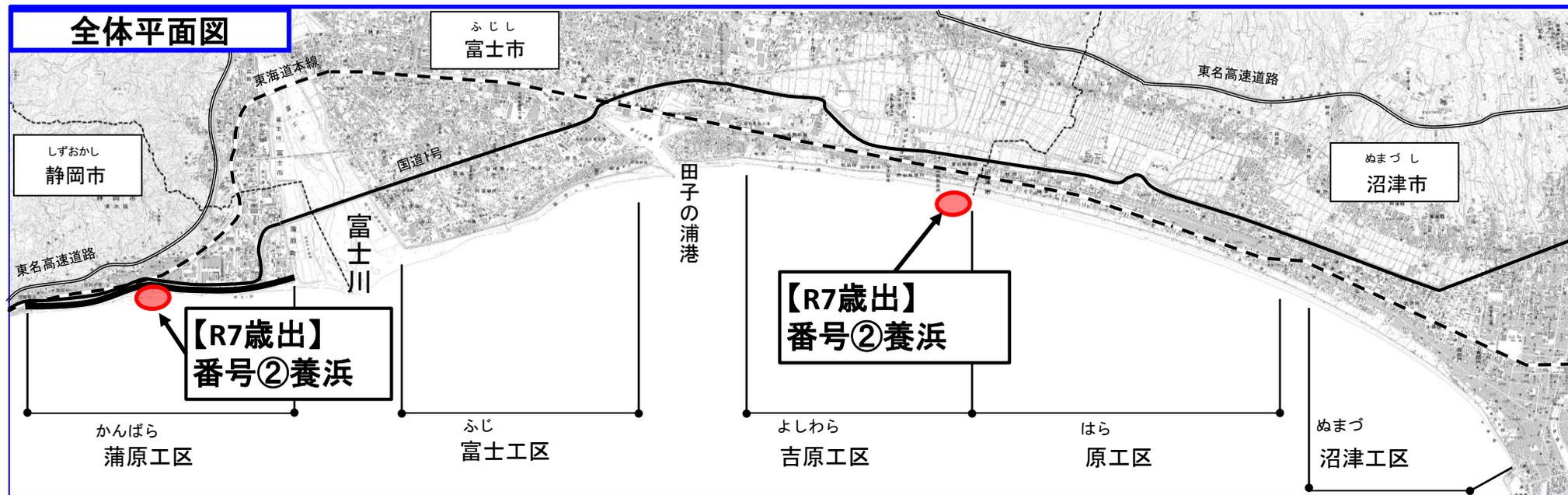
高波浪を消波する離岸堤
(平成29年10月23日 台風21号)



ブロック式離岸堤 整備イメージ

蒲原工区・吉原工区（養浜）

○富士海岸は、我が国最深の駿河湾の奥に位置し、その地形特性から、太平洋の巨大な波浪が直接侵入するため、これまで幾度となく高波による甚大な災害を受け、また、沿岸漂砂の減少により海岸侵食が進んでいました。
○このため、背後地域の安全性を確保することを目的に、蒲原工区及び吉原工区において養浜を実施します。



駿河海岸事業

- 大井川東西の沿岸約12.1 kmにおいて、高潮災害等の防止のため、有脚式の離岸堤・養浜などの海岸保全施設の整備を行っています。
- また、南海トラフの巨大地震等に伴うL1津波を超える津波に対しても、できる限り減災機能を発揮させるよう、粘り強い構造の海岸堤防を整備します。

【主な事業内容】

○有脚式離岸堤 (①)

- ・高潮・侵食対策として大井川工区において、有脚式の離岸堤を整備します。

○養浜 (②)

- ・高潮・侵食対策として大井川工区・焼津工区において、海浜(浜幅・勾配)の安定化を図るため、養浜を実施します。

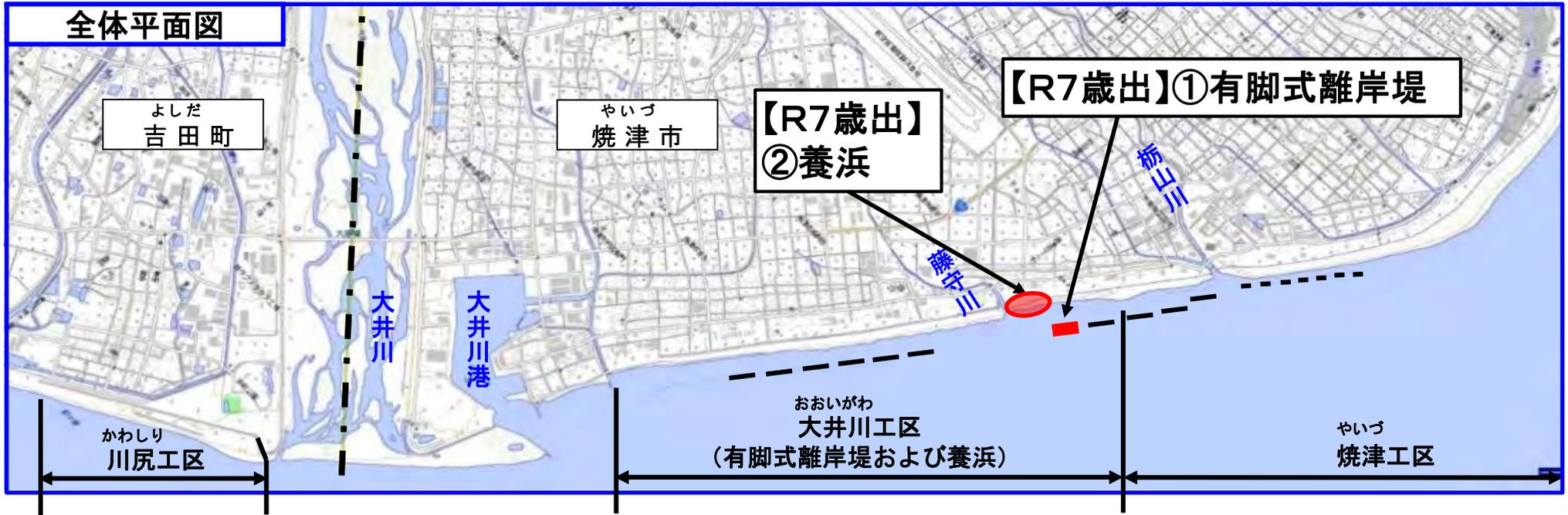
○粘り強い構造の海岸堤防 (③)

- ・L1津波を超える減災対策として焼津工区において、粘り強い構造の海岸堤防を整備します。



大井川工区（有脚式離岸堤、養浜）

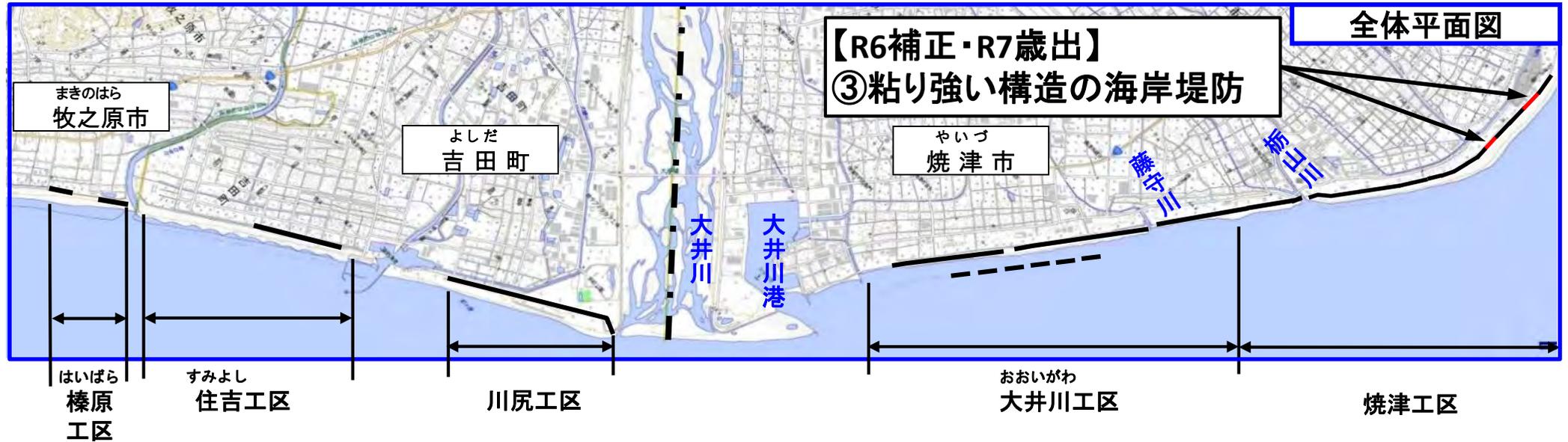
- 駿河海岸は、我が国最深の駿河湾に面し、高波が減衰することなく押し寄せることから、これまで多くの台風・地震等によって甚大な被害を受けてきました。また、大井川からの土砂供給量の減少に加え、大井川港の防波堤等により沿岸漂砂が遮断され、汀線の後退が生じています。
- このため、目標浜幅を確保し、高潮や高波による浸水・越波を防止することを目的に、大井川工区において有脚式離岸堤を整備するとともに、養浜を実施します。



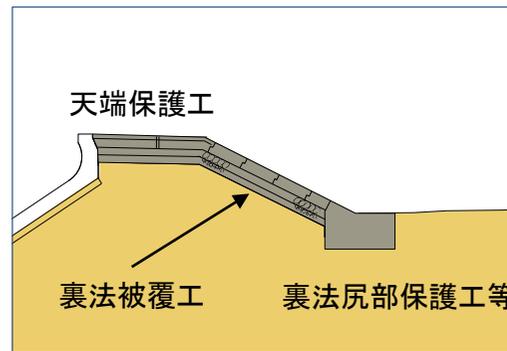
焼津工区（粘り強い構造の海岸堤防）

○南海トラフの巨大地震等に伴うL1津波※を超える津波に対しても、できるだけ減災機能を発揮させるよう、粘り強い構造の海岸堤防を整備し、早期に安全度の向上を図ります。

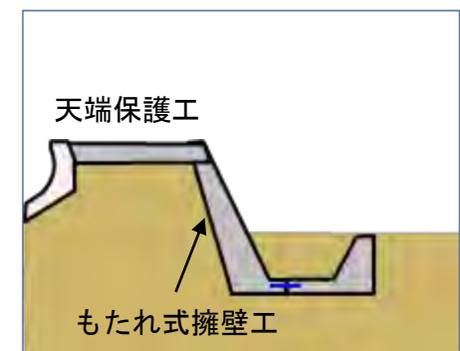
※L1津波：比較的発生頻度の高い津波（最大クラスの津波に比べて発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波（数十年から百数十年の頻度））。



一般的な粘り強い構造の海岸堤防整備イメージ



背後地に制約のない区間



背後地に制約のある区間